



研究所だより

那覇市立教育研究所

那覇市金城3-5-3

Tel 891-3441 Fax 857-8681

naha-c@naha-c.nahaken-ohn.ed.jp

所長 田中 浩三



「ICT活用アンケート」結果から

所長 田中 浩三

本年度七月に市内小中学校教員を対象に実施した「ICT活用に関するアンケート」の集計結果を基に「考察を述べてみたい」と答えている。さらにその詳細を各機器の活用率で見てみると、中学校教員では46%が「活用している」(週一～二回以上)と「パソコン」では小学校の59%が、中学校では76%が授業で「活用している」と答えている。大型デジタルテレビ(小:66%、中:15%)やデジタル教科書(小:52%、中:11%)についてもパソコンと同様な傾向を示している。そこで、小中学校の活用率について考えてみると、小学校では「パソコン」(入力)と「大型デジタルテレビ」(出力)、「デジタル教科書」(授業用ソフト)の三種が一体的に配備されている学級が多い現状にある。一方、中学校では「パソコン」以外の他の二種の配備状況はあまり進んでいない。つまり、小学校のように「入力機器+出力機器+授業用ソフト」がセットで揃っていることが教員のICT活用率は高くなることがわかる。

また、質問①「現在よく使っているICT機器は?」に対して、その活用率をみると小学校では高い順に挙げると、「パソコン→デジタル教科書→デジタルカメラ」となっており、出力機器では「大型デジタルテレビ」の活用がほとんどである。ところが、質問②「今後使いたいICT機器は?」に対する回答では、小学校では高い順に「パソコン→デジタル教科書→実物投影装置」であり、出力機器として「電子黒板→大型デジタルテレビ」となっている。つまり、「パソコン」や「デジタル教科書」はこれまで同様今後とも活用したい機器であるが、今後は新たに「実物投影装置」や「電子黒板」等も活用したいとしている。また、中学校では質問①では「パソコン→DVD録画再生機→デジタルカメラ」の順であり、出力機器としては「大型デジタルテレビ→プロジェクター」となっている。質問②では「パソコン→デジタル教科書」の希望が多く、出力機器は「電子黒板→大型デジタルテレビ」の順となっている。つまり、「これまで使っていたパソコンに加えて今後はデジタル教科書や電子黒板・大型デジタルテレビの活用を望んでいる」とることがわかる。(次回へ続く)

第99期 研究員 テーマ検討会・頂立て検討会

10月15日(月)に第99期研究員の「テーマ検討会」が、23日(火)に「頂立て検討会」が行われました。

洲 錦 裕子	与儀幼稚園	幼児教育
仲 地 健	城北小学校	社会
石 川 広美	城西小学校	国語
松茂良	首里中学校	道徳



内容については、まだまだ焦点化されておらず、漠然とした部分に鋭いご指摘があったので、検証が可能なのか、もう一度整理する必要があると感じた。さらに、どの文章においても、言葉のズレや内容の整合性など一つ一つ丁寧に見直し、同時にたくさんの著書や先行研究等を読んだり、理論研究を深めていきたい。



国仲指導主事

教育研究員 所内講座

情報モラル・HP作成

11/7(水)

HP作成では、実際に表紙や実演を行いました。学校のHPについて、4月からは学校でも少しずつHPづくりに関わっていきたいと思いました。

情報化社会の中で育つ子どもたちにとって、ネットを切り離して生活することはできません。我々大人が、メリット、デメリットの両方の側面をしっかりと伝え、上手く活用する術を教えていく必要があります。



講師:上地弘美先生

自分が想像していた以上に、子どもたちがネット社会とつながりを持っていることも知り、学校でもインターネット利用時のモラルや注意事項をきちんと把握して、伝えていかないと強く思いました。HP作成も楽しく行うことができました。思ったよりも簡単にできるなあという印象を受けました。

平成25年度 教育研究員募集のお知らせ

お勧め月刊誌

『国語教育』 明治図書出版

情緒的な国語科教育をしりぞけ、論理的な筋道と伝統的な言語文化を日本の子どもひとりひとりに教え、国語を正しく豊かに表現する力を育てるため、言語技能を着実に駆使出来るような国語科教育の内容と方法を毎月特集形式で提案する。



教育研究所では平成25年度教育研究員を募集しています。
詳しく募集要項でお確かめください。

(那覇市立教育研究所ホムペーJまたはDesknets)

【前期】第100期 平成25年4月1日

～平成25年9月30日(6ヶ月)

【後期】第101期 平成25年10月1日

～平成26年3月31日(6ヶ月)